

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2018-80802 (P2018-80802A)
 【公開日】平成 30 年 5 月 24 日 (2018.5.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-019
 【出願番号】特願 2016-225056 (P2016-225056)
 【国際特許分類】

F 1 6 L 9/14 (2006.01)

【F I】

F 1 6 L 9/14

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

固体物を含んだ流体が内部を流れる配管部材であって、
 筒状の外管と、

前記外管の内側に、径方向に間隔をあけて設けられ、1 個又は管軸方向に直列状に並べて配置された複数の筒状のライナと、

前記外管の一端側に設けられ、前記一端側に配置された前記ライナを、前記管軸方向及び前記管軸周りの周方向に拘束した状態で保持する第 1 ライナ保持部材と、

前記外管の他端側に設けられ、前記他端側に配置された前記ライナを、前記管軸方向にスライド移動可能、かつ前記周方向に拘束した状態で保持する第 2 ライナ保持部材と、
 を備え、

前記ライナの端部と隣接する前記外管の端面との間には管軸方向に隙間が形成され、前記隙間では前記第 2 ライナ保持部材が前記ライナの外周側に設けられることを特徴とする配管部材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

上記課題を解決するために、本発明の配管部材、ガス化複合発電装置、配管部材の組立方法は以下の手段を採用する。

本発明に係る配管部材は、固体物を含んだ流体が内部を流れる配管部材であって、筒状の外管と、前記外管の内側に、径方向に間隔をあけて設けられ、1 個又は前記管軸方向に直列状に並べて配置された複数の筒状のライナと、前記外管の一端側に設けられ、前記一端側に配置された前記ライナを、管軸方向及び前記管軸周りの周方向に拘束した状態で保持する第 1 ライナ保持部材と、前記外管の他端側に設けられ、前記他端側に配置された前記ライナを、前記管軸方向にスライド移動可能、かつ前記周方向に拘束した状態で保持する第 2 ライナ保持部材と、を備え、前記ライナの端部と隣接する前記外管の端面との間には管軸方向に隙間が形成され、前記隙間では前記第 2 ライナ保持部材が前記ライナの外周側に設けられることを特徴とする。